

# 2017年11月 定例自然観察会報告書

六甲山自然案内人の会 6班

1. 実施日時 2017年 11月12日(日) 9:45~15:00 天候 晴
2. テーマ 「有馬富士公園で秋を満喫する」
3. コース JR新三田駅~武庫川支流の大池川沿いの道~有馬富士公園~新三田駅
4. 参加者数 ビジター 31名; 会員 32名; 計63名  
(参考 11月5日(日)実施の自主研修会への参加会員 37名)
5. 観察時のグループ分けと説明  
ビジターを無作為に5グループに分けて、各グループに説明・引率者(リーダー)および補佐・安全確認担当者を2名程度配置
6. 配布資料 コースマップ および 植生リスト(本文末尾に添付)

## 7. 観察会の結果概要

秋晴れの好天の下、紅葉真っ盛りの武庫川支流の溪流沿いと有馬富士公園の園内を歩き、秋の植物の状況をじっくりと観察することができた。コース全体が、幅が広くて勾配が少ない観察に適した道で、田園地帯から谷沿いの林内へ、最後は整備された公園へと変化に富んでいて、観察会コースとしての好条件を備えている。季節を変えて再び訪れたいという思いを抱きながら有馬富士公園を後にした。

## 8. 観察会の実施記録

○新三田駅を出発して田園地帯を歩く

- ・秋晴れの好天の下、有馬富士公園に向けて出発
- ・田園地帯では道端や稲刈り後の田んぼにたくましく生きる草葉を観察、
- ・農地では三田米や黒大豆などの特産品が収穫を終えた後だった



○武庫川支流の大池川に沿ってプロムナードを歩く

- ・大池川は勾配が緩く、しばらくは河畔を利用した農地の中を歩きながらの観察
- ・多くの花の開花時期が過ぎてしまったが、ちょうど秋の恵みの実が付く時期なので、いろんな実に出会えるのも秋の楽しみ



- ・大池川沿いの道は絶好のプロムナード、色づく木々の木漏れ日を浴びながら落ち葉を踏みしめて進む



- ・大池川の河畔には湿地を好むハンノキが群生し、コースを代表する植物といえるハンノキの前で特徴などの説明を聞く



- ・赤や黄に染まる紅葉をバックにして観察やはり目を奪われるのはイロハモミジ脚を止めて写真撮影タイムとなった



○有馬富士公園内に入る

- ・有馬層群を代表する岩石の露出が見られる火山灰等が固まってできた歴史の説明を聞く
- ・福島大池の背後には有馬富士が姿を現す 海拔 374m は富士山の 10 分の 1 の高さ



- ・昼食場所には東屋とトイレがあって快適
- ・池の畔を歩いて公園内の植物を観察
- ・九州の一部にしか自生していないオオバネムノキは、僅かに残る葉と実が観察できた



- ・園内でも彩り鮮やかな植物が歓迎してくれた



- ・公園のパークセンターにて観察会を終了、幹線道路の歩道を歩いて新三田駅へと向かった。

## 9. 観察会を終えて

・準備時期の10月は雨続きで特に週末には台風が来襲し、植物の直前状況を確認するため合同下見が実施できず、個別に下見を行って対応することとなった。

・10月22日に台風21号が接近して恐ろしいほどの強風に見舞われ、各地で大木が倒れて道を塞ぎ、通行止めが相次いだ。このコースでも大池川沿いのルート及び公園の園路が被害にあって通行止めとなった。川沿いのルートは数日後に倒木を撤去して開通したが、公園内の園路は通行止めのまま観察会を迎えたため、予定していたコースを変更してショートカットした。そのため、案内チラシに記載したサワフタギ、ウルシ、サクラバハノキ等の植物にお目にかかれず少し残念であった。

・しかし11月に入ると一転して好天が続き、当日は少し冷え込んだが目の覚めるような青空と真っ盛りの紅葉の中で迎えることができた。台風の影響を差し引いても絶好のコンディションだったといえる。

・コースは、登山道ではないので危険な区間がなく、車道も自動車が少ないので安全面での問題はなかった。JR駅から近いのでアクセス性に優れ、昼食場所には東屋やトイレが設置され、行動のしやすさはほぼ完璧と言えよう。六甲山系の範囲を少し超えているとはいえ、定例自然観察会のコースとして、非常に快適で贅沢なコースだといえるのではなかろうか。

・今回は台風の影響で一部が通行できなかった。また、落葉して葉が見られなかった植物も多かったのも、新緑や花咲き乱れるシーズンに再び開催して、今回とは異なる華やかな姿も見てもらいたいと願う次第である。

記録 東條和夫

## 植生リスト（9月の下見時、確認順）

### 新三田駅～

タカサブロウ アレチヌスビトハギ アメリカミズキンバイ スベリヒユ イヌホタルイ  
アメリカコナギ ケイヌビエ シマスズメノヒエ アゼガヤ カヤツリグサ イヌガラシ イヌビユ  
メヒシバ トキンソウ チョウジタデ コニシキソウ

### 大池川を渡る橋～

シナダレスズメガヤ アメリカセンダングサ アラカシ カスミザクラ アベマキ ヤマハギ ヌルデ  
エノキ フジ コツブキンエノコロ ヨウシュヤマゴボウ ヒメコウゾ ニシキソウ ツユクサ  
タマガヤツリ アレチニシキソウ ナツフジ ヤマハゼ イタチハギ ヤブツバキ タカノツメ  
マルバアオダモ ツクバネウツギ カマツカ コマユミ イブキシモツケ ポントクタデ ミゾソバ  
トキワハゼ オオヒキヨモギ アキノタネツケバナ イヌエンジュ ツリバナ タチドコロ  
ウワミズザクラ トキリマメ コブナグサ ノブドウ ヒメジソ クサネム イタチハギ  
シカクホタルイ ウリカエデ ソヨゴ コバノミツバツツジ

### 八幡神社～

ナツハゼ ネズミモチ ウグイスカグラ オオコマユミ ヤマボウシ カマツカ アオツヅラフジ  
コニシキソウ ニシキソウ アカメガシワ ヤマハゼ ウワミズザクラ ヤマザクラ ミヤマガマズミ  
コバノミツバツツジ ハンノキ ヤマウルシ ツクバネウツギ マンサク ナガバノコウヤボウキ  
タチドコロ ヒサカキ ヒメカンアオイ イロハモミジ チゴユリ アオハダ タカノツメ ハンノキ  
イヌツゲ カマツカ シラヤマギク アセビ コナラ アベマキ ヒイラギ ネジキ ヤマボウシ

### 有馬富士公園 福島大池（流紋岩の露頭）～

ハンノキ ヌルデ アキグミ ノブドウ ヘクソカズラ アカマツ ツルウメモドキ オオニシキソウ  
コナラ タラノキ イヌザンショウ コシアブラ サワフタギ ミヤマガマズミ ネジキ タカノツメ  
マルバアオダモ ウリカエデ ヤマハギ コバノミツバツツジ ツクバネウツギ イヌエンジュ  
ミヤマガマズミ ハンノキ カスミザクラ イヌツゲ イソノキ クヌギ オオバネムノキ

### 分岐 野鳥の広場方面へ（この区間の一部は通行止めのため観察ができなかった）

ハンノキ クヌギ クマヤナギ テイカカズラ ネムノキ タカノツメ コバノミツバツツジ  
ミヤマガマズミ ヒサカキ イロハモミジ ヤマハゼ カナクキノキ イヌザンショウ コシアブラ  
ヌルデ イヌザクラ ウワミズザクラ サクラバハンノキ メナモミ コバノガマズミ イヌザクラ  
ヒメコウゾ ウルシ イボタノキ ウワミズザクラ

### 分岐 林の生態園方面へ

ヒヨドリジョウゴ ケヤマハンノキ ガマズミ アレチヌスビトハギ オトコヨウゾメ ヤマボウシ  
ミヤマガマズミ モチノキ ネジキ ヤマウルシ